

次の文章は、女房たちが会話をしている場面である。これを読んで、後の設問に答えなさい。

「あはれ、折につけて、三位入道のやうなる身にて、^① 集を撰えらびはべらばや。^② 『千載集』こそは、その人のしわざなれば、

いと心にくくはべるを、あまりに人にところを置かるるにや、さしもおほえぬ歌どもこそ、あまた入りてはべるめれ。何事も

^③ あいなくなりゆく世の末に、この道ばかりこそ、^④ 山彦やまひこの跡絶えず、^⑤ 柿かきの本もとの塵ちり尽つきず、とかやうけたまはりはべれ。まこと

に、聞き知らぬ耳にもありがたき歌どもはべるを、主ぬしの、ところにはばかり、人のほどに片去かたさる歌どもにはかき混まぜず撰えり出い

でたらば、^⑥ いかにいみじくはべらむ。いでや、^⑦ A ども、^⑧ 女ばかり口惜くししきものなし。昔より色を好み、道を習しふ輩ともがら

多かれども、女の、いまだ集など撰えらぶことなきこそ、いと口惜くししけれ」と言へば、

「必ず、集を撰えらぶことの B べきにもあらず。^⑨ 紫式部が『源氏』を作り、清少納言が『枕草子』を書き集めたるより、

^⑩ さきに申しつる物語ども、多くは女のしわざにはべらずや。されば、なほ捨てがたきものにて我ながらはべり」と言へば、

(甲)「さらば、などが、世の末にとどまるばかりの一ふし、書きとどむるほどの身にてはべらざりけむ。人の姫君、北の方

などにて隠かくるへばみたらむはさることにて、^⑪ 宮仕人みやづかへびととてひたおもてに出で立ち、なべて人に知らるばかりの身をもちて、『こ

のころはそれこそ』など人にも言はれず、世の末までも書きとどめられぬ身にてやみなむは、^⑫ C 口惜くししかるべきわざな

りかし。昔より、いかばかりのことかは多かめれど、^⑬ あやしの腰折こしれ一つ詠みて、集に入ることなど ^⑭ D 女はいとかた

かめり。まして、世の末まで名をとどむばかりの言葉、言ひ出で、し出でたるたぐひは少なくこそ聞こえはべれ。いとありが

たきわざなんめり」など言へば、

例の若き人、「さるにても誰々かはべらむ。昔、今ともなく、おのづから 心にくく聞こえむほどの人々思ひ出でて、その中に、少しもよからむ人のまねをしはべらばや」と言へば、

「ものまねびは人のすまじかなるわざを。淵*4に入りたまひなむず」と言ひて笑ふ。

(『無名草子』による)

《注》

*1 三位入道——平安時代後期、鎌倉時代初期の歌人である藤原俊成しゅんせいのこと。

*2 山彦の跡絶えず、柿の本の塵尽きず——「山彦」「柿の本」はそれぞれ山部赤人やまべのあかひと、柿本人麻呂かきのものひとまろを踏まえている。

*3 さきに申しつる物語ども——問題文よりも前の箇所箇所で女房たちが話題にしていた物語作品のこと。

*4 淵に入りたまひなむず——ひどい目にあうだろう、というような意味。当時の諺か。

A1 ——線部①「集を撰びはべらばや」の現代語訳として最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

ア 勅撰集を編むことになったのです イ 勅撰集に歌を採られたいものだ ウ 勅撰集の撰者に任命されました

エ 勅撰集を編纂したいものです オ 勅撰集が企画されたらよいのに

A2 ——線部②「『千載集』」について、この発言をしている女房はどのような評価をしているか。その説明として最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

ア 三位入道はすぐれた歌人なのに、この歌集に選ばれた彼の和歌はあまり三位入道らしさが感じられないものが多くて感心しない。

イ 自分の詠んだ和歌が選ばれなかったのは残念だが、日頃から尊敬している三位入道が撰者を務めているのでとてもすばらしい。

ウ いろいろな人に配慮して編纂されているため、収録された和歌も変化に富みバランスのとれたよい歌集である。

エ 三位入道の選んだ歌集なのですばらしいとは思いますが、あまり出来のよくない和歌も収録されているのは残念だ。

オ 撰者である三位入道のことには気に入らないが、選ばれた和歌にはすばらしいものが多いのでおおむね評価できる。

A 3 — 線部③「あいなく」の意味として最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

ア つまらなく イ にぎにぎしく ウ とどこおりなく エ あかるく オ いたたまれなく

A 4 — 線部④「いかにいみじくはべらむ」の現代語訳として最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

ア どんなにか悲しいことでしょう イ どれほどがっかりすることでしょう

ウ どれほど楽しかったことでしょう エ どれほど嬉しがられたことでしょう

オ どんなにかすばらしいことでしょう

A 5

A · B · C には形容詞「いみじ」が入る。それぞれの にふさわしい「いみじ」の活用形の組

合せとして正しいものを次の中から一つ選びなさい。

ア	<input type="checkbox"/> A	いみじかる	<input type="checkbox"/> B	いみじき	<input type="checkbox"/> C	いみじかり
イ	<input type="checkbox"/> A	いみじき	<input type="checkbox"/> B	いみじ	<input type="checkbox"/> C	いみじかり
ウ	<input type="checkbox"/> A	いみじき	<input type="checkbox"/> B	いみじかる	<input type="checkbox"/> C	いみじく
エ	<input type="checkbox"/> A	いみじけれ	<input type="checkbox"/> B	いみじかる	<input type="checkbox"/> C	いみじく
オ	<input type="checkbox"/> A	いみじけれ	<input type="checkbox"/> B	いみじき	<input type="checkbox"/> C	いみじき

A 6

——線部⑤「女ばかり口惜しきものなし」というのはなぜか。その説明として最も適切と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

- ア 女性は散文作品を書く能力に比較して歌を詠む才能に乏しいから。
- イ 女性は歌の作者に配慮しながら勅撰集を編纂することがあまりないから。
- ウ 女性はこれまで一度たりとも勅撰集の撰者になつたことがないから。
- エ 女性は詠歌には熱心だが勅撰集の編纂には興味を示してこなかったから。
- オ 女性は昔から好色な存在で歌を詠むことに集中してこなかったから。

A 7

——線部⑥「紫式部が『源氏』を作り、清少納言が『枕草子』を書き集めたる」とあるが、その時代の文学状況の説明として最も適切と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

- ア かな文学が普及し『蜻蛉日記』や『更級日記』などの日記文学が書かれた時代であった。

- イ 漢字によって日本語を表記した『古事記』や『万葉集』などの作品が書かれた時代であった。
- ウ 武士が活躍し『平家物語』や『太平記』などの軍記物語が作られた時代であった。
- エ 王朝文化への思慕が高まり『新古今和歌集』や『百人一首』が編纂された時代であった。
- オ 社会不安が広がり『方丈記』や『徒然草』のような随筆が多く書かれた時代であった。

A 8 (甲) の女房は直前の発言に対してどのように応じているか。その説明として最も適切と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

- ア 女性には散文の作者として名をあげる道が残されているという発言に対して、自分は姫君や北の方として生きたいと反論している。
- イ あなたも捨てたものではないという発言に対して、自分は後世に残るような物語作品を書けなかったのだからと謙遜している。
- ウ 女性は散文に才能を示しているという発言に対して、ならばどうして自分にはそのような才能がなかったのかと愚痴をこぼしている。
- エ 紫式部や清少納言に憧れるという発言に対して、あなたには『源氏物語』や『枕草子』のような作品を書く文才があるとおだてている。
- オ 女性が勅撰集の撰者になれないのはおかしいという発言に対して、まともな和歌すら詠めないのだから当然だからかっている。

A 9 — 線部⑦「あやしの腰折れ」の意味として最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

- ア みすばらしい年寄り
- イ 見苦しく下手な和歌
- ウ 身分の低い老人
- エ 風変わりで高名な歌人
- オ 不思議な魅力のある和歌

A 10 Dに入る語として最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

- ア のみ
- イ まで
- ウ より
- エ だに
- オ こそ

A 11 — 線部⑧「心にくく聞こえむほどの人々」の現代語訳として最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

- ア 思慮がないと噂されているような人々
- イ 奥ゆかしいと評判になっているような人々
- ウ 憎たらしいと思ひ申し上げているような人々
- エ 期待はずれだと思われるような人々
- オ いいなあと皆がひそかに憧れているような人々

A 12 次の中で女房たちの発言内容に一致するものはどれか。最も適当と思われるものを次の中から一つ選びなさい。

- ア 世も末ではあるがすばらしい和歌はなお詠まれている。
- イ 女性が勅撰集の撰者になることはこれまでずっと禁じられていた。
- ウ これまでの物語作者はほとんどが男性で占められていた。
- エ 立派な先人のまねをしない人はひどい目にあうものだ。
- オ 宮仕えをする女房はすぐに羨望の的になり噂されるものだ。